

2022年7月13日付 下野新聞より

幸福 逆転サヨナラ

劇的最終回、今工無念



9回、幸福・清家の2点適時二塁打で大島(右)がサヨナラのホームイン＝県営、柴田大輔撮影

エース4安打3打点

〇…九回裏、サヨナラの打球が左中間で弾む。幸福の科学学園の勝利を決めたのは、エースで主砲の清家 駿太朗だった。

マウンドでは8四球と大苦戦。大会直前の練習試合で熱中症となった影響で本調子とはほど違っていたが、カーブなどを駆使しかわした。毎回走者を背負い、足をつりながら何とか気迫で切り抜けた。

味方の好守にも救われ「迷惑かけたのに、みんなが『大丈夫か?』って声をかけてくれて…」と感謝まじりの背番号1。感謝の思いはバットに寄せ、4安打3打点の大活躍。「自分が決めるつもりだった」と大黒柱の責任を全うした。

(県営)



幸福・和美遊撃手



軽快な動きで内野ゴロをさばき、ベンチに引き上げる幸福の和美(左)＝県営

仲間と出会えた回り道

を道「日々」への渴望、親戚らの紹介で幸福学園を知った。最終的編入の決め手は「野球部があったからだ。シャイだから新しい環境になじめるか不安だった。だが年下のチームメイトたちは積極的に話しかけてくれた。経験の浅い後輩に丁寧に野球を教えるうちに「純粹に楽しむ気持ち」を思い出した。

「この日は劇的な逆転勝ち。サヨナラ打の清家 駿太朗は、また勝負を引退させる訳にはいかない。その場で、和美は涙をこぼさなかった。」

(伊藤 慧)

▽県営
〇〇10002
〇〇1002
〇〇10254
▽幸福
〇〇10254
〇〇10254
〇〇10254

た幸福の科学学園が逆転、サヨナラ勝ちを取った。幸福は1点を追う九回、一死、一塁から清家が左中間を破る二塁打を放った。守つては四球と捕球に苦し

【幸福】
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

【和美】
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

【清家】
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

【和美】
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳